

野村新中国A株投信

運用報告書(全体版)

第9期(決算日2019年8月19日)

作成対象期間(2018年8月21日~2019年8月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、運用開始以来永らくご愛顧いただきましたが、2020年8月18日に信託期間満了となります。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2010年10月15日から2020年8月18日までです。	
運用方針	野村中国A株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株に投資する投資信託証券を主要投資対象として、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村新中国A株投信	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	実質的に中国A株に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村新中国A株投信	外貨建て資産への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		投資信託 組入比率	純総 資産額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰		
	円			円		%	百万円
5期(2015年8月18日)	17,471			0		78.0	11,955
6期(2016年8月18日)	11,949			50		△31.3	4,885
7期(2017年8月18日)	13,988			100		17.9	4,110
8期(2018年8月20日)	13,537			100		△2.5	3,460
9期(2019年8月19日)	14,772			100		9.9	3,156

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

*参考指数(=MSCIチャイナAインデックス(税引後配当込み・円換算ベース))は、MSCI China A Index(税引後配当込み・現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日前日にノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エーが発表する為替レートで円換算しております。なお、設定時を100として指数化しています。

*MSCI China A Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー)

○当期中の基準価額と市況等の推移

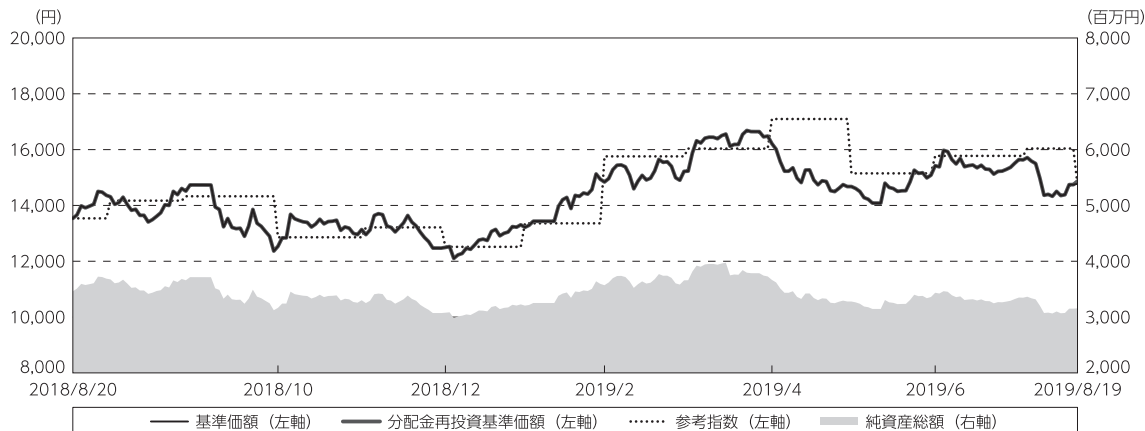
年 月 日	基準価額		参 考 指 数	騰 落 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2018年8月20日	円	%			%
	13,537	—	128.22	—	93.7
8月末	14,309	5.7	134.23	4.7	93.6
9月末	14,513	7.2	135.71	5.8	95.5
10月末	12,536	△7.4	121.80	△5.0	94.7
11月末	12,954	△4.3	125.16	△2.4	95.6
12月末	12,496	△7.7	118.56	△7.5	94.1
2019年1月末	13,215	△2.4	126.53	△1.3	96.0
2月末	14,840	9.6	149.26	16.4	94.4
3月末	15,230	12.5	151.90	18.5	95.4
4月末	16,213	19.8	161.94	26.3	96.5
5月末	14,676	8.4	143.49	11.9	92.8
6月末	15,423	13.9	149.42	16.5	93.5
7月末	15,713	16.1	151.92	18.5	93.0
(期末) 2019年8月19日					
	14,872	9.9	139.63	8.9	93.4

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：13,537円

期末：14,772円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率： 9.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年8月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCIチャイナA インデックス(税引後配当込み・円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2018年8月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。なお、参考指数のグラフは、データ取得の都合上、月末の値を用いて作成しております。作成期首は2018年8月20日、作成期末は2019年8月19日の値を使用しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

- (下 落) 米国の長期金利上昇や株価急落を受け世界的な株安となったこと、米国が同盟国に対して中国の大手通信機器メーカー製品の使用停止を要求し、米中関係悪化への懸念が強まったこと、世界的な景気減速懸念が強まったこと、為替市場で円高が進行したこと
- (上 昇) 中国人民銀行(中央銀行)が預金準備率引き下げを発表したこと、トランプ米大統領が中国製品に対する関税引き上げの延期を表明したこと、全人代(全国人民代表大会)において減税やインフラ投資拡大等の方針が発表され景気刺激策への期待が高まったこと、為替市場で円安が進行したこと
- (下 落) 米中貿易摩擦の長期化への警戒が高まったこと、米政府が中国の大手通信機器メーカーへの禁輸措置を決定したことや人民元安が嫌気されたこと

(上 昇) 欧米の金融緩和観測から世界的に株高となったこと、G20（20カ国・地域首脳会議）において米中が貿易交渉再開で合意したこと

○投資環境

中国本土株式市場は、期初、政府による国内消費刺激の方針や、国際的な株価指数における中国本土株の組入比率引き上げ検討のニュースが好感され上昇して始まりましたが、2018年10月上旬以降は、米国の長期金利上昇や株価急落を受け世界的な株安となったことから下落に転じ、その後も米中貿易摩擦の不透明感から続落しました。11月中旬には、中国当局による自社株買い規制緩和等の市場支援策などが好感され反発しましたが、米国が同盟国に対して中国の大手通信機器メーカー製品の使用停止を要求したことから米中関係悪化への不安が台頭し再び下落しました。

2019年1月以降は、中国人民銀行が預金準備率引き下げを発表したことや米国の利上げ休止観測、米中貿易協議進展への期待などから反発し、その後もトランプ米大統領が対中関税引き上げの延期を表明したことなどが好感され上昇基調で推移しました。3月以降も、全人代において約2兆元（約33兆円）規模の減税やインフラ投資拡大等の景気刺激策が発表されたことや、1－3月期の実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったことなどを受け続伸しました。

しかし、5月以降は、トランプ米大統領が対中関税引き上げを表明し、中国も対米報復関税を発表するなど米中貿易摩擦の長期化への懸念が高まり下落に転じ、また米政府が中国の大手通信機器メーカーへの禁輸措置を決定したことが嫌気され下落基調で推移しました。

6月以降は、G20において米中が貿易交渉再開で合意したことや、米国の利下げ観測への期待から世界的に株高となったことを受け上昇基調で推移しました。期末にかけては、トランプ米大統領が対中追加関税の発動を表明したことや世界的な景気減速への懸念から下落したものの、当期において中国本土株式市場は上昇しました。

為替市場では、中国政府による消費刺激策や市場支援策への期待などから2018年12月前半にかけて人民元高・円安基調で推移しました。12月後半以降は世界経済の先行き不透明感などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、2019年1月上旬にかけて人民元安・円高となりましたが、その後は4月にかけて、米中貿易協議進展への期待などから人民元高・円安基調に転じました。5月以降、期末にかけては米中貿易摩擦への警戒感や世界的な景気減速懸念を受けて円高が進行し、期を通じては人民元安・円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村新中国A株投信]

主要投資対象である「野村中国A株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、中国A株に実質的に投資を行ないました。

・組入比率

期を通じて「野村中国A株マザーファンド」受益証券への投資比率はおおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）を行ないませんでした。

[野村中国A株マザーファンド]

・組入比率

実質的に中国A株に投資する外国投資信託「ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンドーチャイナAシェアーズ・ファンド」、「ニュー・ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンドーチャイナA シェアーズ・アクティブ・ファンド」の組み入れを行ないました。期を通じて外国投資信託への投資比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き（外国投資信託）

<投資割合を引き上げた主な業種・銘柄>

- ①保険契約数の堅調な伸びを背景に中長期的な成長が期待でき、バリュエーション（投資価値評価）にも割安感があると判断した保険株のCHINA PACIFIC INSURANCE-A
- ②米大手通信機器メーカーへ多様な部品を提供しており、今後も製品のアップグレードに伴い生産量の拡大が期待できると判断したテクノロジー・ハードウェアおよび機器株のLUXSHARE PRECISION INDUSTRY-A

<投資割合を引き下げた主な業種・銘柄>

- ①国内での自動車の普及が落ち着き、今後は自動車生産の減速が予想され売り上げが減少すると判断した自動車・自動車部品株のFUYAO GROUP GLASS INDUSTRY-A
- ②利益成長が鈍化しつつあり、バリュエーションにも割高感があると判断した資本財株のZHEJIANG WEIXING NEW BUILD-A

・期末の状況（外国投資信託）

- (1) バリュエーションを考慮すると市場の下値は限定的であると見ており、特に優良銘柄を中心に組み入れています。
- (2) 経済の構造的変化の中で成長を続ける消費関連株を多めに保有しています。

(3) 金融規制強化から利益成長が鈍化すると見込まれる金融セクターについては保有を少なめにしています。

・為替ヘッジ

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当期は、参考指数の8.9%の上昇に対し、基準価額は9.9%の上昇となりました。

(主なプラス要因)

①飼料業界で強固な地位にあり、業界再編によるマーケットシェア拡大と利益成長の加速が期待できることからオーバーウェイト（市場平均より高い投資比率）としていた食品・飲料・タバコ株のGUANGDONG HAID GROUP CO-Aの株価騰落率が市場平均を上回ったこと

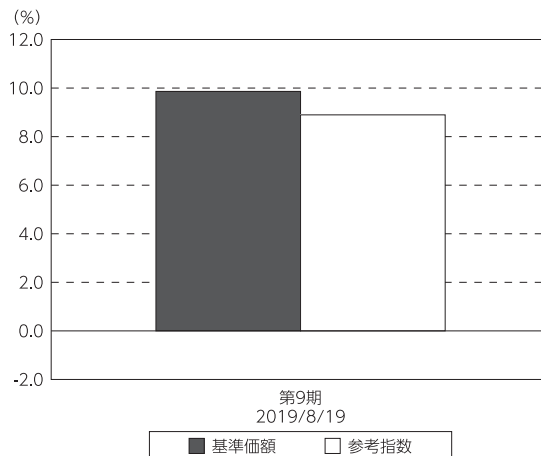
②マーケットシェア拡大や商品価格の値上げにより堅調な売上が期待できると判断してオーバーウェイトとしていた食品・飲料・タバコ株のTSINGTAO BREWERY CO LTD-Aの株価騰落率が市場平均を上回ったこと

(主なマイナス要因)

①米中貿易摩擦による関税引き上げの影響が懸念され株価騰落率が市場平均を下回った食品・飲料・タバコ株のPETPAL PET NUTRITION TECHNOLOGY-Aをオーバーウェイトとしていたこと

②ドラッグストア事業の成長余地が限定的になりつつあることや、規制強化によるオンラインビジネスへの影響が懸念され株価騰落率が市場平均を下回った家庭用品・パーソナル用品株のBY-HEALTH CO LTD-Aをオーバーウェイトとしていたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIチャイナA インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎分配金

- (1) 収益分配金については、利子・配当収入、売買益などから基準価額水準などを勘案し、1万口当たり100円としました。
- (2) 留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第9期
	2018年8月21日～ 2019年8月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.672%
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	4,772

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[野村新中国A株投信]

「野村中国A株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、中国A株を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行ないます。

[野村中国A株マザーファンド]

当ファンドは、外国投資信託への投資を通じて中国A株に実質的に投資します。
外国投資信託への投資比率は高位を維持します。

・投資方針（外国投資信託）

引き続きボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を行ない、株式への投資比率は高位に維持する方針です。

なお、実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行なわない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年8月21日～2019年8月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 159	% 1.109	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.269)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(116)	(0.808)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.032)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	159	1.112	
期中の平均基準価額は、14,343円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

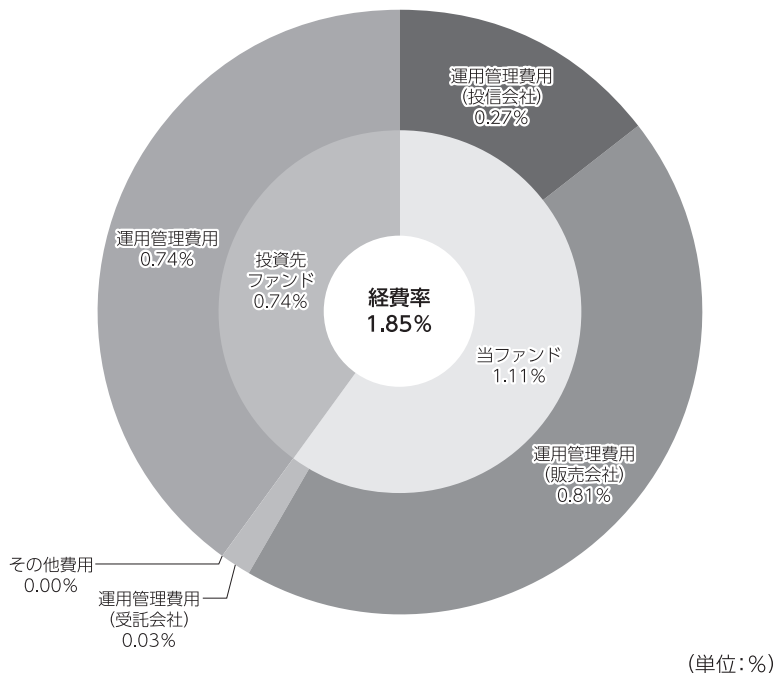
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.85%です。



経費率(①+②)	1.85
①当ファンドの費用の比率	1.11
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年8月21日～2019年8月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村中国A株マザーファンド	千口 27,179	千円 41,977	千口 441,400	千円 739,431

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月21日～2019年8月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村中国A株マザーファンド	千口 2,274,564	千口 1,860,343	千円 3,139,516

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村中国A株マザーファンド	千円 3,139,516	% 98.2
コール・ローン等、その他	57,562	1.8
投資信託財産総額	3,197,078	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,197,078,147
コール・ローン等	57,561,974
野村中国A株マザーファンド(評価額)	3,139,516,173
(B) 負債	40,651,425
未払収益分配金	21,367,591
未払信託報酬	19,227,805
未払利息	88
その他未払費用	55,941
(C) 純資産総額(A-B)	3,156,426,722
元本	2,136,759,159
次期繰越損益金	1,019,667,563
(D) 受益権総口数	2,136,759,159口
1万円当たり基準価額(C/D)	14,772円

(注) 期首元本額は2,556,410,635円、期中追加設定元本額は49,562,752円、期中一部解約元本額は469,214,228円、1口当たり純資産額は1,4772円です。

○損益の状況 (2018年8月21日～2019年8月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,812
支払利息	△ 18,812
(B) 有価証券売買損益	319,951,366
売買益	393,882,378
売買損	△ 73,931,012
(C) 信託報酬等	△ 37,903,943
(D) 当期損益金(A+B+C)	282,028,611
(E) 前期繰越損益金	△ 91,608,241
(F) 追加信託差損益金	850,614,784
(配当等相当額)	(321,988,635)
(売買損益相当額)	(528,626,149)
(G) 計(D+E+F)	1,041,035,154
(H) 収益分配金	△ 21,367,591
次期繰越損益金(G+H)	1,019,667,563
追加信託差損益金	850,614,784
(配当等相当額)	(321,988,450)
(売買損益相当額)	(528,626,334)
分配準備積立金	643,334,837
繰越損益金	△ 474,282,058

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年8月21日～2019年8月19日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2018年8月21日～ 2019年8月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	376,444,181円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	664,702,428円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,041,146,609円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	4,872円
g. 分配金	21,367,591円
h. 分配金(1万円当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	100円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年11月14日>

野村中国A株マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日2019年8月19日）

作成対象期間（2018年8月21日～2019年8月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として実質的に中国A株に投資する別に定める投資信託証券（投資信託および外国投資信託の受益証券（投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。）。以下同じ。）（以下、「指定投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。 指定投資信託証券への投資にあたっては、資金動向、市況動向、流動性等を勘案し、各投資信託証券への投資比率を決定します。なお、指定投資信託証券は、定性評価、定量評価、流動性等を勘案して適宜見直しを行います。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たに中国A株に実質的に投資する投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。 指定投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。
主な投資対象	主として実質的に中国A株に投資する指定投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への直接投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
	円	%		%	%	百万円
5期(2015年8月18日)	18,541	80.6	232.35	111.3	98.4	11,892
6期(2016年8月18日)	12,898	△30.4	144.79	△37.7	97.9	4,847
7期(2017年8月18日)	15,391	19.3	167.23	15.5	99.3	4,184
8期(2018年8月20日)	15,184	△1.3	128.22	△23.3	93.8	3,453
9期(2019年8月19日)	16,876	11.1	139.63	8.9	93.9	3,139

*参考指数(=MSCIチャイナA インデックス(税引後配当込み・円換算ベース))は、MSCI China A Index(税引後配当込み・現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日前日にノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エーが発表する為替レートで円換算しております。なお、設定時を100として指数化しています。

*MSCI China A Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー)

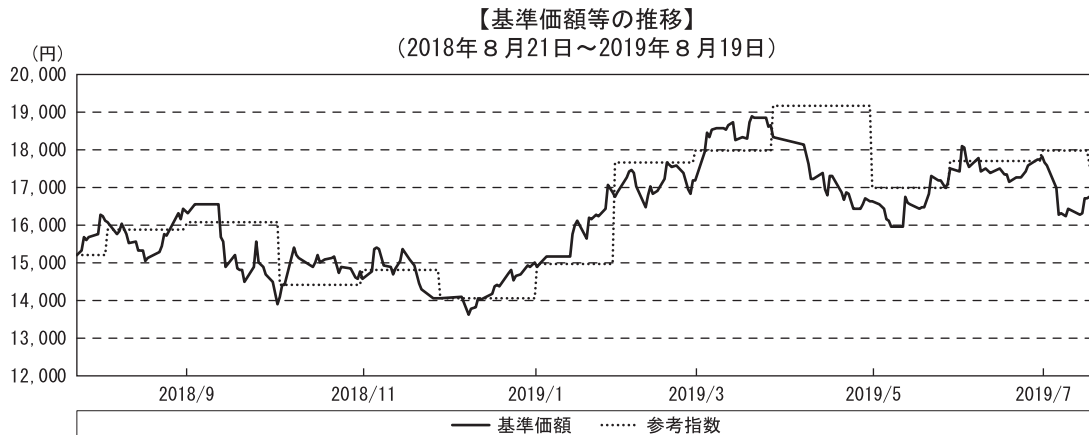
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託 組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首)	円	%		%	%
2018年8月20日	15,184	—	128.22	—	93.8
8月末	16,062	5.8	134.23	4.7	94.4
9月末	16,309	7.4	135.71	5.8	96.3
10月末	14,084	△7.2	121.80	△5.0	95.4
11月末	14,571	△4.0	125.16	△2.4	96.0
12月末	14,067	△7.4	118.56	△7.5	94.7
2019年1月末	14,893	△1.9	126.53	△1.3	96.4
2月末	16,748	10.3	149.26	16.4	95.2
3月末	17,209	13.3	151.90	18.5	96.2
4月末	18,355	20.9	161.94	26.3	97.3
5月末	16,624	9.5	143.49	11.9	93.4
6月末	17,490	15.2	149.42	16.5	94.0
7月末	17,820	17.4	151.92	18.5	93.3
(期末)					
2019年8月19日	16,876	11.1	139.63	8.9	93.9

*騰落率は期首比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIチャイナA インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。なお、参考指数のグラフは、データ取得の都合上、月末の値を用いて作成しております。作成期首は2018年8月21日、作成期末は2019年8月19日の値を使用しております。

○基準価額の主な変動要因

- (下 落) 米国の長期金利上昇や株価急落を受け世界的な株安となったこと、米国が同盟国に対して中国の大手通信機器メーカー製品の使用停止を要求し、米中関係悪化への懸念が強まったこと、世界的な景気減速懸念が強まったこと、為替市場で円高が進行したこと
- (上 昇) 中国人民銀行（中央銀行）が預金準備率引き下げを発表したこと、トランプ米大統領が中国製品に対する関税引き上げの延期を表明したこと、全人代（全国人民代表大会）において減税やインフラ投資拡大等の方針が発表され景気刺激策への期待が高まったこと、為替市場で円安が進行したこと
- (下 落) 米中貿易摩擦の長期化への警戒が高まったこと、米政府が中国の大手通信機器メーカーへの禁輸措置を決定したことや人民元安が嫌気されたこと
- (上 昇) 欧米の金融緩和観測から世界的に株高となったこと、G20（20カ国・地域首脳会議）において米中が貿易交渉再開で合意したこと

○当ファンドのポートフォリオ

・組入比率

実質的に中国A株に投資する外国投資信託「ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンドーチャイナAシェアーズ・ファンド」、「ニュー・ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンドーチャイナAシェアーズ・アクティブ・ファンド」の組み入れを行ないました。期を通じて外国投資信託への投資比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き（外国投資信託）

＜投資割合を引き上げた主な業種・銘柄＞

- ①保険契約数の堅調な伸びを背景に中長期的な成長が期待でき、バリュエーション（投資価値評価）にも割安感があると判断した保険株のCHINA PACIFIC INSURANCE-A
- ②米大手通信機器メーカーへ多様な部品を提供しており、今後も製品のアップグレードに伴い生産量の拡大が期待できると判断したテクノロジー・ハードウェアおよび機器株のLUXSHARE PRECISION INDUSTRY-A

＜投資割合を引き下げた主な業種・銘柄＞

- ①国内での自動車の普及が落ち着き、今後は自動車生産の減速が予想され売上げが減少すると判断した自動車・自動車部品株のFUAYAO GROUP GLASS INDUSTRY-A
- ②利益成長が鈍化しつつあり、バリュエーションにも割高感があると判断した資本財株のZHEJIANG WEIXING NEW BUILD-A

・期末の状況（外国投資信託）

- (1) バリュエーションを考慮すると市場の下値は限定的であると見ており、特に優良銘柄を中心に組み入れています。
- (2) 経済の構造的変化の中で成長を続ける消費関連株を多めに保有しています。
- (3) 金融規制強化から利益成長が鈍化すると見込まれる金融セクターについては保有を少なめにしています。

・為替ヘッジ

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）を行ないませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

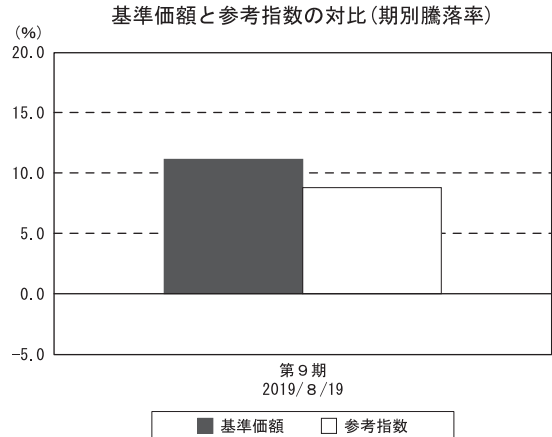
当期は、参考指数の8.9%の上昇に対し、基準価額は11.1%の上昇となりました。

(主なプラス要因)

- ① 飼料業界で強固な地位にあり、業界再編によるマーケットシェア拡大と利益成長の加速が期待できることからオーバーウェイト（市場平均より高い投資比率）としていた食品・飲料・タバコ株のGUANGDONG HAID GROUP CO-Aの株価騰落率が市場平均を上回ったこと
- ② マーケットシェア拡大や商品価格の値上げにより堅調な売上が期待できると判断してオーバーウェイトとしていた食品・飲料・タバコ株のTSINGTAO BREWERY CO LTD-Aの株価騰落率が市場平均を上回ったこと

(主なマイナス要因)

- ① 米中貿易摩擦による関税引き上げの影響が懸念され株価騰落率が市場平均を下回った食品・飲料・タバコ株のPETPAL PET NUTRITION TECHNOLOGY-Aをオーバーウェイトとしていたこと
- ② ドラッグストア事業の成長余地が限定的になりつつあることや、規制強化によるオンラインビジネスへの影響が懸念され株価騰落率が市場平均を下回った家庭用品・パーソナル用品株のBY-HEALTH CO LTD-Aをオーバーウェイトとしていたこと



(注) 参考指数は、MSCIチャイナA インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

当ファンドは、外国投資信託への投資を通じて中国A株に実質的に投資します。外国投資信託への投資比率は高位を維持します。

○投資環境

中国経済については、6月末の米中首脳会談で貿易摩擦の悪化が一旦回避されましたが、トランプ米大統領が8月初旬に対中追加関税の発動を表明するなど、引き続き米中貿易摩擦が景気の不確定要因となっています。一方、3月の全人代で政府は金融・財政政策を柔軟に用いて経済成長を下支えする姿勢を示し、実際6月に新たなインフラ投資刺激策を発表しています。今後、経済の減速基調がより強まった局面では、再び市場への流動性の供給やインフラ投資の増加など更なる政策発動が期待されます。

中国株式市場については、中国政府が当面の景気安定を優先し、金融・財政の両面で適宜景気下支えに動くと思われることなどが投資家心理を支えると見えています。

○投資方針（外国投資信託）

前記の投資環境を踏まえ、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を継続し、株式への投資比率は高位に維持する方針です。IT（情報技術）分野を中心とした米中貿易摩擦の短期的な解決は困難と予想されますが、中長期的には政府の積極的な政策支援の効果が期待できることから、過度に悲観的になる必要はないと考えます。バリュエーションを考慮すると市場の下値は限定的であり、特に優良銘柄は利益成長の点で有望な投資先であると見えています。また、国際的な株価指数における中国本土株の組入比率引き上げによる資金流入も期待できると考えます。引き続き、経済の構造的変化の中で成長を続ける消費関連株など質の高い企業を中心に投資する方針です。

なお、実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月21日～2019年8月19日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年8月21日～2019年8月19日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額 千円	口数	金額 千円
国内	ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンド-チャイナシェアーズ・ファンド	1,284	24,981	37,173	700,052

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月21日～2019年8月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月19日現在)

国内投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額 千円	比率 %
ニュー・ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンド-チャイナシェアーズ・アクティブ・ファンド		48,885	48,885	900,119	28.7
ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンド-チャイナシェアーズ・ファンド		142,266	106,377	2,049,352	65.3
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	191,151	155,262	2,949,472	<93.9%>

*評価額の単位未満は切り捨て。

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,949,472	93.9
コール・ローン等、その他	190,052	6.1
投資信託財産総額	3,139,524	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,139,524,339
コール・ローン等	190,051,929
投資信託受益証券(評価額)	2,949,472,410
(B) 負債	292
未払利息	292
(C) 純資産総額(A-B)	3,139,524,047
元本	1,860,343,786
次期繰越損益金	1,279,180,261
(D) 受益権総口数	1,860,343,786口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,876円

(注) 期首元本額は2,274,564,067円、期中追加設定元本額は27,179,862円、期中一部解約元本額は441,400,143円、1口当たり純資産額は1,6876円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村新中国A株投信 1,860,343,786円

○損益の状況 (2018年8月21日～2019年8月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 102,224
支払利息	△ 102,224
(B) 有価証券売買損益	383,383,113
売買益	387,124,266
売買損	△ 3,741,153
(C) 当期損益金(A+B)	383,280,889
(D) 前期繰越損益金	1,179,133,434
(E) 追加信託差損益金	14,797,615
(F) 解約差損益金	△ 298,031,677
(G) 計(C+D+E+F)	1,279,180,261
次期繰越損益金(G)	1,279,180,261

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2018年11月14日>

ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンドーチャイナAシェアーズ・ファンド

2018年8月31日決算

(計算期間:2017年9月1日～2018年8月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
主 要 投 資 対 象	中国の金融商品取引所に上場している中国元建ての株式(以下「中国A株」)
運 用 方 針	中国A株を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。株式への投資にあたっては、マクロ環境分析やセクター分析などのトップダウン・アプローチによりセクター配分を決定後、ボトムアップ・アプローチによるファンダメンタルズ分析に基づき、投資銘柄を選別し、ポートフォリオを構築します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
投 資 顧 問 会 社	野村アセットマネジメント株式会社
副 投 資 顧 問 会 社	ノムラ・アセット・マネジメント・ホンコン・リミテッド チャイナ・アセット・マネジメント(ホンコン)リミテッド
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
管 理 事 務 代 行 会 社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書

2018年8月31日に終了する計測期間
(円)

収益

銀行口座利息	220,755
受取配当金等(源泉徴収税控除後)	49,370,751
収益合計	49,591,506

費用

投資マネージャー手数料	18,975,410
事務管理代行報酬	2,585,362
保管費用	862,576
当座借越利息	5,500
取引銀行報酬	8,495,729
受託報酬	575,023
法務報酬	243,193
立替費用	287,187
専門家報酬	5,817,763
印刷、出版手数料	160,940
費用合計	38,008,683

純投資損益

11,582,823

投資有価証券売買に係る損益
外国通貨に係る損益

421,080,861
(934,503)

当期実現純損益

420,146,358

投資有価証券評価差損益

(414,935,157)

当期評価差損益

(414,935,157)

運用の結果による純資産の増減額**16,794,024**

組入資産明細
2018年8月31日現在
(円)

数量	銘柄	評価額	投資比率(%)
	中国		
普通株			
1,106,300	CHINA CONSTRUCTION BANK A	123,443,924	4.91
118,500	PING AN INSURANCE GROUP CO A	121,040,128	4.83
262,800	CHINA MERCHANTS BANK A	120,577,611	4.81
64,300	JIANGSU YANGHE BREWERY A	120,271,197	4.80
11,000	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A	117,601,175	4.69
108,941	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C A	116,877,139	4.66
370,251	GUANGDONG HAIID GROUP CO-A	115,053,573	4.59
447,200	CHINA YANGTZE POWER CO LTD A	114,740,474	4.57
170,033	TSINGTAO BREW-A	94,312,160	3.76
183,550	HANGZOU HIKVISION DIGITAL-A	93,623,184	3.73
386,400	QINGDAO HAIER-A	93,312,577	3.72
732,300	YONGHUI SUPERSTORES CO LTD-A	91,094,628	3.63
215,800	FUYAO GROUP GLASS INDUSTR-A	88,968,313	3.55
116,688	NEW CHINA LIFE INSURANCE CO A	86,770,860	3.46
125,068	MIDEA GROUP CO LTD A	84,381,628	3.36
133,700	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD A	80,512,762	3.21
87,400	SHANG INTL AIR-A	77,791,815	3.10
99,300	HAN'S LASER -A	70,346,136	2.80
63,887	WULIANGYE YIBIN CO LTD A	64,137,424	2.56
216,132	ZHEJIANG WEIXING NEW BUILD-A	59,345,036	2.37
135,700	CHONGQING BREWERY CO-A	55,901,303	2.23
65,550	PETPAL PET NUT-A	53,793,720	2.14
88,800	LEPU MEDICAL-A	45,294,136	1.81
98,200	ANGEL YEAST CO LTD	43,240,399	1.72
138,312	BTG HOTELS GRO-A	41,319,766	1.65
117,700	XIAMEN INTERNA-A	37,815,453	1.51
52,400	HUBEI JUMPCAN -A	34,716,163	1.38
71,700	JONJEE HIGH-TE-A	33,490,375	1.34
54,300	SHANGHAI M&G S-A	26,419,795	1.05
101,800	ZHENGZHOU YUTONG BUS CO A	25,013,172	1.00
58,900	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRY A	23,117,402	0.92
125,500	ZHEJIANG SEMIR-A	22,735,540	0.91
28,220	HEBEI YANGYUAN-A	21,739,972	0.87
27,960	WUXI LITTLE SWAN CO-A	20,610,068	0.82
		<u>2,419,409,008</u>	<u>96.46</u>
	中国計	<u>2,419,409,008</u>	<u>96.46</u>
	投資有価証券合計	<u>2,419,409,008</u>	<u>96.46</u>

ニュー・ノムラ・チャイナ・インベストメント・ファンドー チャイナAシェアーズ・アクティブ・ファンド

2018年8月31日決算

(計算期間:2017年9月1日～2018年8月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
主 要 投 資 対 象	中国の金融商品取引所に上場している中国元建ての株式(以下「中国A株」)
運 用 方 針	中国A株を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。株式への投資にあたっては、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を中心に、トップダウン・アプローチによる業種配分等も加味して組入れ銘柄の選定を行います。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
投 資 顧 問 会 社	野村アセットマネジメント株式会社
副 投 資 顧 問 会 社	ノムラ・アセット・マネジメント・ホンコン・リミテッド
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
管 理 事 務 代 行 会 社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

* 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書

2018年8月31日に終了する計測期間

(円)

収益

銀行口座利息	135,123
受取配当金等(源泉徴収税控除後)	13,685,692

収益合計	<u>13,820,815</u>
------	-------------------

費用

投資マネージャー手数料	5,622,451
事務管理代行報酬	902,953
保管費用	301,226
当座借越利息	14,021
取引銀行報酬	5,021,589
受託報酬	200,813
法務報酬	71,003
立替費用	100,288
専門家報酬	1,255,609
印刷、出版手数料	162,513
創業費償却	176,876

費用合計	<u>13,829,342</u>
------	-------------------

純投資損益	<u>(8,527)</u>
-------	----------------

投資有価証券売買に係る損益	43,522,043
外国通貨に係る損益	<u>(2,225,262)</u>

当期実現純損益	<u>41,296,781</u>
---------	-------------------

投資有価証券評価差損益	<u>(120,283,317)</u>
-------------	----------------------

当期評価差損益	<u>(120,283,317)</u>
---------	----------------------

運用の結果による純資産の増減額	<u>(78,995,063)</u>
-----------------	---------------------

組入資産明細
2018年8月31日現在
(円)

数量	銘柄	評価額	投資比率(%)
	中国		
普通株			
56,354	PING AN INSURANCE GROUP CO A	57,561,986	6.67
122,100	CHINA MERCHANTS BANK A	56,021,790	6.49
76,759	MIDEA GROUP CO LTD A	51,788,223	6.00
44,837	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C A	48,103,288	5.57
358,200	BAOSHAN IRON & STEEL CO-A	45,778,353	5.30
37,704	SHENZHEN GOODI-A	45,263,160	5.24
4,000	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A	42,764,064	4.95
81,779	HANGZOU HIKVISION DIGITAL-A	41,712,941	4.83
285,420	FOCUS MEDIA IN-A	39,763,622	4.60
36,500	CHINA INTERNAT-A	37,507,352	4.34
118,690	LUXSHARE PRECI-A	35,804,321	4.15
80,820	TASLY PHARMACEUTICAL GROUP A	28,968,065	3.35
110,953	ZHENGZHOU YUTONG BUS CO A	27,262,147	3.16
37,600	HAN'S LASER -A	26,636,603	3.08
62,400	FUYAO GROUP GLASSIndustr-A	25,725,777	2.98
80,400	GUANGDONG HAIID GROUP CO-A	24,983,882	2.89
177,200	NBTM NEW MATER-A	24,370,696	2.82
103,000	DARE POWER DE-A	22,952,623	2.66
106,478	JIANGSU PACIFIC PRECISION - A	22,639,714	2.62
93,396	JIANGSU KANGDE XIN COMPOSITE MAT CO *	21,502,087	2.49
25,600	CHANGZHOU XING-A	20,730,506	2.40
77,097	WANGFUJING GRO-A	20,131,295	2.33
70,200	JIANGSU NHWA PHARMACEUTICAL A	19,218,431	2.23
14,639	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD A	18,898,740	2.19
11,000	HUADONG MEDICI-A	8,024,547	0.93
		<u>814,114,213</u>	<u>94.27</u>
	中国計	<u>814,114,213</u>	<u>94.27</u>
	投資有価証券合計	<u>814,114,213</u>	<u>94.27</u>

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年8月19日現在)

年 月	日
2019年8月	-
9月	11、12、13、27、30
10月	1、2、3、4、7、30、31
11月	1
12月	20、23、24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。